

平成30年度 国語科【第1学年】年間指導計画・評価計画

指導時期	単元	教材名	配当 時数	教材目標	学習活動の流れ	評価規準例	学習指導要領との対 応 (*)は本教科書独自の言 語活動例
4月	言葉と出会う	ふしぎ／声を出そう 【話す聞く】感想を伝え合おう 【書く】記録をしよう	3 (内、話聞1, 書1)	(●『ふしぎ』を読むことをとおして、小学校での国語学習を振り返りながら、これからの中学校での学習に向けて、関心をもつ。)	1 どのようなことを「ふしぎ」と捉えているか、考える。読み取ったことを踏まえて、朗読する。 2 自分の体験に照らし合わせて、自分が「ふしぎ」と思うことをグループ内で発表し、話し合う。 3 他のグループの「ふしぎ」を聞き、メモを取る。金子みすゞの『ふしぎ』にならない自分流の「ふしぎ」を書く。	◇国語への関心・意欲・態度 ・小学校での国語学習を振り返りながら、中学校での学習について、関心をもとうとしている。	C(1)ア C(1)オ A(1)オ B(1)ア 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)ア A(2)イ B(2)イ
		音を追いかけて	4	●登場人物の心情や行動の変化に着目し、作品の理解を深める。	1 本文を音読し、あらすじを捉える。 2 登場人物の心情に着目し、行動の変化の理由について考える。 3 「自信」という言葉の意味について考える。 4 未来の心情を表していると思われる箇所を本文の中から探し、その効果について話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・作品を音読しながら、登場人物の場面ごとの心情を捉えようとしている。 ◇読む能力 ・「自信」という語句の意味を、作品の文脈において的確に捉え、理解している。 ・主人公の心情を表す表現に注意して読み、主人公の行動の変化を理解している。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・中学生の未来を表す語句と小学生の頃の未来を表す語句の違いに気づき、語彙について関心を深めている。	C(1)ア C(1)ウ 伝国(1)イ(ウ) ■言語活動例 C(2)ア
		【書く】体験したことを文章にする	5	●自分の体験を振り返り、随筆を書く。 ●題名を決め、時間の順序にそって、文章を書く。	1 自分の体験をもとに、マッピングを行い、随筆の題名を決める。 2 できごとや考えたことを、付箋やカードなどに書き出し、時間の順序にそって並べる。 3 自分の感想や考えが伝わるように、四百字程度で随筆を書く。 4 書いた文章を推敲する。 5 書いた文章を友達と読み合い、構成について話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・身のまわりのできごとによって、自分の感想や考えを随筆にまとめようとしている。 ◇書く能力 ・テーマをもとに、自分の体験を振り返って材料を集め、「始め—中—終わり」という構成で時間の順序にそって文章を書いている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・わかりやすい表現を心がけ、適切な語句を選択している。	B(1)ア B(1)イ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 (*)
5月	言葉で意味づける	【話す聞く】お気に入りの一品を紹介する	1	(●自分の思いを表現するために、実物や写真などを用意する。) (●ペアでスピーチを聞き合い、思いを伝え合う。)	1 「お気に入りの一品」を決め、実物や写真などを用意して、話す内容と項目を考え、ペアでスピーチをし合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・「お気に入りの一品」をわかりやすく説明しようとしている。 ◇話す・聞く能力 ・課題について、話す内容や項目を踏まえて、自分の考えを表現している。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・話し言葉と書き言葉の区別を意識して、聞き手にわかりやすい語句を選択している。	A(1)ア A(1)イ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 A(2)ア
		笑顔という魔法	5 (内、話聞1)	●語句の意味や接続表現・文末表現をおさえ、筆者のものの見方や考え方を捉える。 ●「題名」と本文の内容、「問い」と「答え」の関係に着目して文章を読む。	1 全文を通読し、実験結果のどのような点が「意外」だったのか、説明する。 2 「問い」と「答え」の関係性を捉え、文章の要旨を捉える。 3 接続表現と文末表現に着目してそれぞれの効果について話し合う。 4 似たような意味の語句の使い分けを確かめ、筆者は「笑顔」がどのような点で「魔法」だと言っているのか、話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・実験の内容や結果を参考に、文章の内容を捉えようとしている。 ◇読む能力 ・表現や語句から内容をおさえ、事実と意見を明確に分け、筆者の考えを的確に捉えている。 ・文章の展開に着目して文章を読んでいる。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・「効果・効力」「認識・判断」「説明・解釈」を使い分けている。	C(1)ア C(1)イ 伝国(1)イ(ウ) ■言語活動例 C(2)イ

				5 「笑顔」や日常生活の中で思い出されることの「効力」について話し合う。	◇話す・聞く能力 ・本文や自分の経験から材料を集め、相手にわかりやすく説明している。	A (1)ア	
	二 関係を見いだす	【話す聞く】 フリップを用いて報告する	4	● 話の構成を考え、フリップを用いて報告する。 ● 文末表現に注意して、事実と意見を区別して話す。	1 日常生活の中から話題を決め、報告するためのフリップを用意する。 2 話す側、聞く側の役割を確認し、話し手は、相手の反応を見ながら、事実と意見を区別して話す。 3 前時の学習を振り返り、再度、スピーチを行う。 4 スピーチの感想や、わかりやすい伝え方について話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・「通学路安全マップ」を作り、フリップを用いてわかりやすく説明しようとしている。 ◇話す・聞く能力 ・「通学路安全マップ」などの話題について、事実と意見を区別して説明している。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・話し言葉と書き言葉の区別を意識して、聞き手にわかりやすい語句を選択している。	A (1)ア A (1)イ A (1)ウ 伝国 (1)イ (イ) ■言語活動例 A (2)ア
6月		言葉の小窓1 日本語の音声 言葉 (解説) 1 日本語の音声	2	●日本語の持つ音の特徴を理解する。	1 「子音」と「母音」の違いや、音の特徴について理解する。 2 「アクセント」「イントネーション」を変化させることによって、どのように意味が変わるのか、またそれによってコミュニケーションにどのような影響が出るのか、考える。	◇国語への関心・意欲・態度 ・日本語の音の特徴を理解しようとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・音声のはたらきや仕組みについて関心を持ち、日常生活の中での影響について考えている。	伝国 (1)イ (ア)
		漢字の広場1 漢字の部首	1	●漢字の部首についての理解を深める。	1 「部首」という概念を理解し、漢字の「部首」を確認したり、「形」から「義」や「音」を類推したりする。	◇国語への関心・意欲・態度 ・漢字の構成の仕方に興味を持ち、それについての知識を深めようとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・代表的な部首の種類やそのはたらきについて理解している。	伝国 (1)ウ (ア) 伝国 (1)ウ (イ)
		漢字の練習1	—	—	—	—	伝国 (1)ウ (ア) 伝国 (1)ウ (イ)
	三 世界をひらく	ベンチ	4	●本や文章から必要な情報を集めるための方法を身につける。	1 作品を読み、「ベンチ」の表す状況を捉えて、自分なりの課題をもつ。 2・3 「みちしるべ」の説明にそって、情報の集め方を理解する。 4 効果的な表現を考えながら、作品のポップや帯を作成する。	◇国語への関心・意欲・態度 ・読書をとおして、人権や平和について考えていこうとしている。 ◇読心能力 ・読書をとおして、必要な情報を集めるための方法を身につけている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・自分の考えを表す短い言葉を作品から選び出している。	C (1)カ 伝国 (1)イ (ウ) ■言語活動例 C (2)ウ
		写真と言葉が生み出す世界 (内、書1)	4	●写真と文章の関係を考え、読み手に対する効果を考える。	1 詩と写真の組み合わせから、最も合っていると感ずるものを選び、その理由について説明する。 2 写真と文章との関係について話し合い、その効果の違いについて話し合う。 3 メディアリテラシーについて理解し、身近なメディアについて話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・写真と文章の関係に関心を持ち、その効果の違いを考えようとしている。 ◇読心能力 ・メディアリテラシーについて理解し、写真と言葉の組み合わせから情報の違いを読み取っている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・文体にそった語句や表現を選択している。	C (1)カ 伝国 (1)イ (イ) ■言語活動例 C (2)ウ
					4 一枚の写真から生まれるさまざまな文章を創作する。	◇書く能力 ・指定された課題にそって、さまざまな種類の文章を書いている。	B (1)ウ
7月		【書く】 芸術作品の鑑賞文を書く	4	●芸術作品から受けた印象を、鑑賞文にまとめる。 ●根拠を明確にして、文章を書く。	1 全文を通読し、鑑賞文について知る。美術の教科書を用いて、鑑賞の練習をする。教科書P72の作品から一つ選ぶ。 2 芸術作品を鑑賞する際の観点を確認し、前時で選んだ作品を鑑賞する。 3 丁寧に、詳しく書けそうな観点をいくつか絞り、鑑賞文を書く。 4 書いた文章を読み合い、根拠のあげ方について話し合う。自己評価をする。	◇国語への関心・意欲・態度 ・芸術作品について、鑑賞したことを文章にまとめようとしている。 ◇書く能力 ・伝えたい事柄について、根拠を明確にし、文章を書いている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・鑑賞の観点となる語句に注意して、活動の中で生かしている。	B (1)ウ 伝国 (1)イ (ウ) ■言語活動例 B (2)ア

		文法の小窓1 言葉の単位 文法（解説） 1 言葉の単位	2	●文章・段落・文・文節・単語という単位について理解する。	1 言葉がさまざまなまとまりに分かれることを理解する。 2 さまざまな文例をもとに、文や文節、単語にくぎる。	◇国語への関心・意欲・態度 ・言葉の単位について関心をもち、「確かめよう」に取り組もうとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・言葉が、文章・段落・文・文節・単語などの単位で分けられることを理解している。	伝国(1)イ(エ)
9月	四 表現に立ち止まる	河童と蛙	1	●場面と人物の対応を捉えて読む。	1 詩の登場人物の役割を捉え、詩の内容を生かすように朗読する。	◇国語への関心・意欲・態度 ・詩に描かれた情景を豊かに想像し、音読や朗読に生かそうとしている。 ◇読む能力 ・文脈や場面展開をもとに人物や場面の様子を想像している。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・反復表現やオノマトペなど、詩の特徴を捉えて朗読の仕方を工夫している。	C(1)ア C(1)ウ 伝国(1)イ(オ) ■言語活動例 C(2)ア
		オツベルと象	7	●作品の構成や展開、表現の特徴について自分の考えをもつ。 ●語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解する。	1 全文を音読し、擬声語・擬態語の使われ方の特徴とその効果を考える。 2 「オツベル」と「白象」はどのような人物として描かれているか、会話部分に着目しながらまとめる。 3 「第一日曜」「第二日曜」のできごとと、「第五日曜」のできごとから、共通点と相違点を比べる。 4 「ああ、ありがとう。ほんとに僕は助かったよ。」(P94L7)と、白象が「寂しく笑って」言った理由について発表し合い、文章にまとめる。 5 「第一日曜」「第二日曜」と「第五日曜」では、牛飼いの語り方が変化していることを踏まえ、牛飼いがどのような気持ちでこの物語を語ったのかを考える。 6 『オツベルと象』についてグループごとに感想を述べ合い、交流したうえで、感想文を書く。 7 感想を発表し交流する。	◇国語への関心・意欲・態度 ・作品の展開や登場人物に関心をもち、あらすじを捉えようとしている。 ◇読む能力 ・作品の構成や展開、表現の特徴に関心をもち、自分の考えをもっている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解している。	C(1)エ 伝国(1)イ(ア) 伝国(1)イ(イ) 伝国(1)イ(オ) ■言語活動例 (*)
		【書く】 行事などの案内文を書く	4	●行事の案内文に必要な内容や構成を理解する。 ●「推敲のポイント」に従って文章を推敲する。	1 行事の案内の中で伝えたいことを検討して、整理する。 2 伝えたい内容や、案内文の形式などを踏まえて書く。 3 教科書P98の「推敲のポイント」にそって推敲する。 4 案内文を読み合い、相手や目的に合った表現の仕方について考える。	◇国語への関心・意欲・態度 ・案内文に必要な内容や構成を理解して、文章を書こうとしている。 ◇書く能力 ・書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすくわかりやすい文章にしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・案内文にふさわしい簡潔に内容を表す語句を選択している。	B(1)エ 伝国(1)イ(ウ) ■言語活動例 B(2)ウ
10月		漢字の広場2 画数と活字の字体	1	●画数と活字の字体についての理解を深める。	1 実際に文字を書き記すための基準となる「教科書体」の活字に着目し、正確な画数と字形に基づいた文字を書く態度を身につけるとともに、画数をもとに漢和辞典の総画索引や部首索引を使用する方法を練習する。	◇国語への関心・意欲・態度 ・画数と漢字の字体の関係に注意し、正しい筆づかいを守ろうとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・活字体の違いによる字形の違いを理解している。	伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)
		言葉の小窓2 日本語の文字 言葉（解説） 2 日本語の文字	2	●日本語を書き表す文字の特徴を理解する。	1 教材文を読んで、「平仮名の成立」までを理解する。 2 前時で学習したことを復習し、「いろは歌」までを理解する。	◇国語への関心・意欲・態度 ・日本語の文字の特徴に興味をもち、知識を深めようとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・日常で用いている日本語の文字の歴史を知り、日本語に対する理解を深めている。	伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)

五 古典と出会う	古典の扉を開く	3	<ul style="list-style-type: none"> ●登場人物の行動や場面を捉え、作品の理解を深める。 ●古典にはさまざまな作品があることや、古典の仮名遣いのきまりを知る。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 全文を通読し、歴史的仮名遣いに注意して川柳を視写したり音読したりして、その内容を想像し、文章にまとめる。 2 歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いを知り、『東海道中膝栗毛』のあらすじを捉え、配役を決めて音読する。 3 『東海道中膝栗毛』のおもしろさについて話し合ったあと、「知音」の意味を踏まえて古典のよさについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・作品のおもしろさや特徴について話し合おうとしている。 ◇読む能力 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの作品のおもしろさや昔の人のものの見方や考え方を捉えている。 ・さまざまな古典の作品にふれながら、歴史的仮名遣いのきまりを理解している。 ◇言語についての知識・理解・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・文語の文章の特徴を理解し、古典特有のリズムを味わいながら音読している。 	伝国(1)ア(ア) 伝国(1)ア(イ) C(1)ウ ■言語活動例 C(2)ア
	物語の始まり	3	<ul style="list-style-type: none"> ●物語について調べたり、話し合ったりして、そのおもしろさを理解する。 ●古典の仮名遣いに注意して音読し、物語の内容を捉える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 『竹取物語』について知っていることを発表した。前半部を通読したり音読したりする。 2 後半部を通読したり音読したり、歴史的仮名遣いに注意しながら原文をノートに書き写したりする。 3 『竹取物語』について調べたり、話し合ったりして、そのおもしろさを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・音読などをおして、古典に興味をもって学習しようとしている。 ◇読む能力 <ul style="list-style-type: none"> ・『竹取物語』の概要を理解し、作品のおもしろさについて発言している。 ・場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立っている。 ◇言語についての知識・理解・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・文語の文章の特徴を理解し、古典特有のリズムを味わいながら音読している。 	伝国(1)ア(ア) C(1)ウ ■言語活動例 C(2)ア
	故事成語	3 (内、書1)	<ul style="list-style-type: none"> ●いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する。 ●漢文訓読のきまりを理解したり、音読したりして、文章の響きを味わう。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「矛盾」の盾と矛を売る人の話でつじつまの合わない点について考え、発表する。 2 書き下し文をノートに書き写したり音読したりして漢文訓読のきまりを理解する。 3 いろいろな故事成語の意味や由来を調べ、それを使った短い文を書き、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・漢文や故事成語に興味をもち、音読したり、いろいろな故事成語を使った文章を書こうとしていたりしている。 ◇読む能力 <ul style="list-style-type: none"> ・「矛盾」をはじめ、他の故事成語についても調べたり、発表したりして、由来や意味を理解している。 ◇言語についての知識・理解・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・漢文訓読のきまりを理解して、音読している。 	伝国(1)ア(ア) C(1)ウ ■言語活動例 C(2)ア
	蜘蛛の糸	3	<ul style="list-style-type: none"> ●わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 全文を通読し、物語のあらすじを捉える。 2 『蜘蛛の糸』以外の近代小説を読む。 3 近代小説についての紹介文を書き、意見を交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・代表的な作家とその作品に興味をもち、近代文学を読もうとしている。 ◇読む能力 <ul style="list-style-type: none"> ・近代の物語や小説を読み、作品のあらすじを捉えている。 ◇言語についての知識・理解・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・作品解説の「言葉の装置」(P130下20)という表現について考えている。 	C(1)カ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)ウ
漢字の練習 2	—	—	—	—	伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)	
11月	文章の構成や表現の特徴を捉えて読む 1 電子レンジの発想	2	<ul style="list-style-type: none"> ●筆者の考えとその根拠に注意して、文章の構成や展開を捉える。 ●筆者の説明の仕方に注意して読み、文章の表現の仕方の工夫を捉える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 全文を通読し、文章の構成や展開を捉え、電子レンジの加熱の仕方を図式化して説明する。 2 表現の特徴について話し合い、文章の表現の仕方の工夫を捉え、自分の表現に生かせるところはないか考え、ノートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考え方や説明の仕方に関心をもち、図表との関連を考えようとしている。 ◇読む能力 <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えとその根拠に注意して、文章の構成や展開を捉えている。 ・筆者の説明の仕方に注意して読み、文章の表現の仕方の工夫を捉えている。 ◇言語についての知識・理解・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・語句の文脈上の意味を理解するとともに、比喩を用いた表現の効果について理解している。 	C(1)ア C(1)イ 伝国(1)イ(イ) 伝国(1)イ(オ) ■言語活動例 C(2)イ

六 説明を 比べる	2 言葉のゆれを考える	3 (内, 書1)	1 全文を通読し、筆者が読者に問いかけている文と、その答えにあたる文をそれぞれ抜き出し、それぞれの答えは何を根拠にしているか、探して確認する。 2 グラフから読み取れることを確かめる。また、いろいろな動詞を「……ことができる」を意味する形にする。	◇国語への関心・意欲・態度 ・筆者の説明の仕方を捉えながら、「言葉のゆれ」について考えようとしている。 ◇読む能力 ・文章の構成や表現の特徴を捉えて読んでいる。 ・文章と図表を照らし合わせながら関連を的確に捉え、内容を理解している。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・身のまわりの言葉の現象について、自分の言語生活との関わりに関心をもっている。	C (1)ア C (1)イ 伝国 (1) イ (ウ) ■言語活動例 C (2)イ
			3 文末表現の違いと効果を考え、「ら抜き言葉」について、四百字程度で意見文を書く。	◇書く能力 ・根拠を明確にして、自分の考えを文章にまとめている。	B (1)ウ
	3 花の形に秘められたふしぎ	5 (内, 書1)	1 全文を通読し、花の形にどのようなふしぎが秘められているのかを捉える。 2 「グラフ」を使って、花に集まる昆虫の偏りを具体的に説明する。 3 筆者はどのように事実と推論を述べているか、文章全体の構成と展開に着目して説明する。 4 昆虫と花の形の多様さとの関係について、本文やグラフの数値を用いながら説明する。	◇国語への関心・意欲・態度 ・文章と図表などとの関連を考えながら、筆者の説明の仕方に注意して文章を読もうとしている。 ◇読む能力 ・筆者の考えとその根拠を読み分け、文章の構成や展開とともに表現の特徴を捉えている。 ・本文章、また、本単元内の三本の説明文について、文章の構成や展開、表現の仕方の特徴を整理している。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・指示語が指し示す文脈上における意味を捉えている。	C (1)ア C (1)イ C (1)エ 伝国 (1) イ (エ) ■言語活動例 C (2)イ
			5 三つの教材文を比較し、構成・展開・表現に着目し、共通点や相違点をまとめる。	◇書く能力 ・三つの文章がもつ「構成・展開・表現の特徴」を分類・整理している。	B (1)イ
	【話す聞く】 友達のスピーチを聞く	4	●友達のスピーチを聞いて、必要に応じて質問する。 ●自分の考えとの共通点や相違点を整理する。 1 日常生活の中から話題を決め、スピーチ原稿を考える。 2 話す側、聞く側の役割を確認し、聞き手は、観点にそって友達のスピーチを聞き、適宜質問する。 3 前時の学習を振り返り、友達のスピーチを聞く。 4 よりよい聞き方について、友達と話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・日常生活の話題についての報告を聞き、よい聞き方について考えようとしている。 ◇話す・聞く能力 ・自分の考えとの共通点や相違点を考えながら聞いている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・話の内容や構成について、共感や疑問の言葉などを用いて聞いている。	A (1)エ 伝国 (1) イ (ウ) ■言語活動例 A (2)ア
	【書く】 意見文を読み合う	4	●具体例や体験を根拠にして、意見文を書く。 ●互いに読み合い、文章のよさを発見し合う。 1 教科書P142の『言葉のゆれを考える』を読み、自分の体験も踏まえながら、何について論じられた文章なのかをつかむ。 2 自分の立場を決め、「意見-根拠-まとめ」の順で構成を考える。 3 構成に注意して、四百字程度で具体例を交えて意見文を書く。 4 書いた文章を推敲して、友達と読み合い、よいところなどについて話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・具体例や体験に基づいて、意見文を書こうとしている。 ◇書く能力 ・書いた文章を互いに読み合い、根拠となる具体例の用い方などについて話し合い、自分の表現の参考になっている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・内容に即して文末表現を工夫し、文章を書いている。	B (1)オ 伝国 (1) イ (イ) ■言語活動例 (*)
12月	漢字の広場3 漢字の音と訓	1	●漢字の音と訓についての理解を深める。 1 漢字がそれぞれにもつ「音」と「訓」、二つの読み方の違いに注目させ、その使い分けや留意すべき特質について理解を深め、練習課題を通じて知識の定着を図る。	◇国語への関心・意欲・態度 ・漢字の読みに興味をもち、それについての知識を深めようとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・漢字の音読み・訓読みを漢和辞典で確認している。	伝国 (1) ウ (ア) 伝国 (1) ウ (イ)

		文法の小窓 2 文の成分 文法（解説） 2 文の成分	3	●主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。	1 文節と文の成分の関係、主語・述語の関係について理解する。 2 主語・述語以外の文の成分には修飾語・接続語・独立語があることを理解する。 3 並立の関係・補助の関係と連文節について理解する。	◇国語への関心・意欲・態度 ・日常生活の中で用いられているさまざまな文が「文の成分」によって構成されていることに興味をもとうとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・文の成分の種類と成分どうしの関係について理解している。	内容の取扱い 2 (1)イ (2年 伝国(1)イ(ウ))
1月	七 発想を広げる	言葉がつながる 世界遺産	6 (内、書2)	●筆者のものの見方や考え方を捉えるとき、言葉のはたらきについての自分の考えをまとめる。 ●構成や展開に注意して読み、筆者のものの見方や考え方に迫るために、要約したり要旨を捉えたりする。	1 全文を通読し、筆者が問いかけている文と、その答えにあたる文をそれぞれ抜き出す。 2 日光の社寺の世界遺産としてのすばらしさについて、イコモスの専門家を驚かせた点をまとめる。 3 「修復記録の蓄積」と「世代を超えた技術の伝承」に対して、「言葉」の使われ方、果たす役割についてまとめる。 4 筆者の言葉に対する捉え方について話し合い、題名にこめられた筆者の思いに対する自分の考えをまとめる。 5 本文中で人物の語りが「」の形で引用されていることは、どのような効果をもたらしているかを考える。 6 日々の生活の中で、言葉によって思いが受け継がれていくように感じた体験を文章にまとめる。	◇国語への関心・意欲・態度 ・筆者のものの見方や考え方、言葉のはたらきに関心をもち、自分の考えをまとめようとしている。 ◇読心能力 ・筆者のものの見方や考え方を捉えるとき、言葉のはたらきについての自分の考えをまとめている。 ・文章の構成や展開に注意して読み、要約したり要旨を捉えたりしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・語句の文脈上の意味を捉えて、自分の文章に用いている。	C(1)イ C(1)エ C(1)オ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)イ
		漢字の練習 3	—	—	—	—	B(1)ア
		【書く】 図表を用いて報告する	6	●図表から情報を読み取り、レポートを書く。 ●相手や目的に応じたわかりやすい文章を書く。	1 学校生活の中からテーマを決めて、アンケート調査を行う。 2 アンケート結果を集計して、結果を図表に表す。 3 集めた調査結果を読み取り、書く順序を考える。 4 図表の内容をわかりやすく説明しながら、レポートを書く。 5 内容や表現を推敲する。 6 効果的な図表の使い方について、友達と話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・図表を用いた説明の文章を書くとうとしている。 ◇書く能力 ・集めた資料を分類し、相手や目的に応じた効果的でわかりやすい構成や表現を考えて、文章を書いている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・テーマにそったアンケート項目を立てている。	B(1)ア B(1)イ B(1)ウ B(1)エ B(1)オ 伝国(1)イ(ウ) ■言語活動例 B(2)イ
2月	八 考えを共有する	四季の詩	1	●それぞれの詩の題材を捉え、描かれたイメージを想像する。	1 それぞれの詩のイメージを想像し、どのような季節感が描かれているか話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・教材に取り上げられたそれぞれの詩と積極的に向き合っているイメージ豊かに理解しようとしている。 ◇読心能力 ・場面の展開や登場人物の描写に注意して内容を想像している。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・比喩や反復などの表現技法について理解し、その効果を考えている。	C(1)ウ 伝国(1)イ(オ) ■言語活動例 C(2)ア
		文法の小窓 3 単語のいろいろ 文法（解説） 3 単語のいろいろ	3	●自立語と付属語、活用の有無などの、分類の基準について理解する。	1 単語が自立語と付属語とに分けられることを理解する。 2 活用のある単語と活用のない単語の区別を理解したうえで、文の中でののはたらきによって十の品詞に分けられることを理解する。 3 品詞分類表よっての品詞分類の全体像を把握し、具体的な文例に即して言葉を分けて考えることの大切さを理解する。	◇国語への関心・意欲・態度 ・言葉を細かく分けて考えるということに興味・関心をもとうとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・単語を品詞分類するにあたって必要な知識を理解している。	伝国(1)イ(エ)

		漢字の練習 4	—	—	—	—	伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)
		漢字の広場 4 熟語の構成	1	●熟語の構成の基本的な型を知る。	1 複数の漢字を組み合わせて作り出される言葉を「熟語」と呼ぶことを確認し、身近な例を取り上げ、構成法によって意味や内容が大きく変わることにつづかせる。教科書にあげた構成法の各型に関する理解を深める。三文字以上の熟語の構成法についてグループ学習で確認する。日常生活の中から七つの型にあてはまる熟語を探す。	◇国語への関心・意欲・態度 ・熟語の構成に興味をもち、さまざまな熟語の構成法を理解しようとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・熟語の構成法について知識を深めている。	伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)
		少年の日の思い出	7 (内, 話聞1)	●語り手に着目して作品を読み、自分のものの見方や考え方を広げる。 ●場面の展開や人物の描写に注意して、登場人物の心情の変化を捉える。	1 全文を通読し、あらすじを捉える。 2 登場人物を抜き出し、それぞれの関係についてノートにまとめる。 3 「僕」と「エーミール」のチョウに対する考え方の違いを捉え、「エーミール」に対する心情の変化をノートにまとめる。 4 「エーミール」の部屋を訪ねた時の「僕」の心情の変化を捉え、盗みを犯した理由を考える。 5 「僕」がチョウをこなごなにした理由を話し合う。 6 「考えよう」の課題について話し合いながら、語り手について考える。 7 明暗を表す表現が作品に与える効果について話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・語り手に着目して作品を読み、自分のものの見方や考え方を広げようとしている。 ◇読心能力 ・語り手に着目して作品を読み、自分のものの見方や考え方を広げている。 ・場面の展開や人物の描写に注意して、登場人物の心情の変化を捉えている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づいている。	C(1)ウ C(1)オ 伝国(1)イ(ウ) ■言語活動例 (*)
		【話す聞く】 アイデアを出して話し合う	4	●グループでアイデアを出して、話し合う。 ●話題や方向にそった話し合いをする。	1 日常生活の中から話題を決め、話し合うための準備をする。 2 「話すこと」「聞くこと」の既習事項や、話し合いのあり方を確認し、自分の考えをもつ。 3 役割を決めて、話題や方向にそった話し合いをする。 4 記録した音声や動画などを確認して、改善すべき点などを話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・日常生活の中の話題について、アイデアを出して話し合おうとしている。 ◇話す・聞く能力 ・話題や方向にそって話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめている。	A(1)オ
3月		【話す聞く】 アイデアを出して話し合う	4	●グループでアイデアを出して、話し合う。 ●話題や方向にそった話し合いをする。	1 日常生活の中から話題を決め、話し合うための準備をする。 2 「話すこと」「聞くこと」の既習事項や、話し合いのあり方を確認し、自分の考えをもつ。 3 役割を決めて、話題や方向にそった話し合いをする。 4 記録した音声や動画などを確認して、改善すべき点などを話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・日常生活の中の話題について、アイデアを出して話し合おうとしている。 ◇話す・聞く能力 ・話題や方向にそって話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・話題や方向にそった話し合いができるように、指示語や接続語について意識しながら、話し合いを進めている。	A(1)オ 伝国(1)イ(オ) ■言語活動例 A(2)イ

時数合計 116時間 (内, 話すこと・聞くこと16時間, 書くこと30時間)

※本表中, 「漢字の練習」の時数や学習活動などについては, 適宜扱う。

※本表中, 「教材目標」欄に()で示してあるものは, 教科書では目標として示していないが, 想定される目標として設定したものである。

※本表に記載のない教材(「四季のたより」「本の世界へ」「言葉と仕事」「ことばの散歩道」「言葉の自習室」)については, 適宜扱う。

平成30年度 国語科【第2学年】年間指導計画・評価計画

指導時期	単元	教材名	配当 時数	教材目標	学習活動の流れ	評価規準例	学習指導要領との 対応 (*)は本教科書独自の言 語活動例
4月	一 言葉が 照らし 出す	虹の足	2 (内, 書 1)	●見えている「虹の足」によって、見えていない「虹の足」について考える。	1 「虹の足」などの比喩的な表現が表しているものを考えながら、感想を交流することをとおしてこの詩にこめられた作者の感動を読み取る。 2 比喩で題名を決め、詩を創作する。	◇国語への関心・意欲・態度 ・詩を読み、内容や表現の仕方について理解しようとしている。 ◇読む能力 ・「虹の足」と「他人には見えて／自分には見えない幸福」との関連について考えている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・抽象的な概念を表す語句やさまざまな表現方法(表現技法)について理解している。	C(1)ア 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)ア
		【話す聞く】 質問する力をつける	1	(●解答を得るために質問をし、答えを考える。) (●どのように質問すれば必要な情報を得られるかを考える。)	1 グループで、封筒の中に隠された言葉を当てるために、内容を考えて質問し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・必要な情報を得るために、積極的に質問を繰り返そうとしている。 ◇話す・聞く能力 ・必要な情報を得るために質問をし、それに対する回答を注意して聞き、自分が考えていた答えと比較している。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・相手や目的に応じて話や文章の形態や展開の違いがあることを理解している。	A(1)エ 伝国(1)イ(オ) ■言語活動例 A(2)ア
		タオル	6	●描写の効果や登場人物の言動の意味に着目して、作品を読み深める。 ●少年の気持ちの変化することの意味について、自分の考えをもつ。	1 全文を通して読み、登場人物やあらすじについて確認する。初発の感想を書き、読みの課題を整理する。 2 祖父をめぐる人々の思いを捉え、祖父の人物像について考える。 3・4 場面ごとの「少年」の心情の変化を捉え、その理由も考える。 5 「涙」に着目して、少年の変化を捉える。 6 「タオル」が果たした役割について考えをもつ。語り方の特徴とその効果を捉え、まとめの感想を書く。	◇国語への関心・意欲・態度 ・物語を読んで、内容や表現の仕方について感想を交流しようとしている。 ◇読む能力 ・描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・登場人物がさまざまな呼ばれ方をしていることについて考えている。	C(1)ア C(1)イ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)ア

		【話す聞く】 図表を用いて提案する	4	<ul style="list-style-type: none"> ●台本をもとに、プレゼンテーションをする。 ●図表などの資料を用いて、構成や展開を考えて話す。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 全文を読み、図表を用いて提案するために、どのような順序で活動すればよいのかを確認する。 2 調査などを行い、収集した情報をもとに、資料を作成する。 3 プレゼンテーションのための台本を作る。 4 資料を提示しながら、プレゼンテーションを行い、提案のあり方について友達と意見を交換する。 	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べてわかったことや考えたことなどに基づいて発表しようとしている。 <p>◇話す・聞く能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異なる立場を想定して、図表などの資料を用いながら、論理的な構成や展開を考えて発表している。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開の違いがあることを理解している。 	A (1)ア A (1)イ A (1)ウ 伝国(1)イ (オ) ■言語活動例 A (2)ア
		言葉の小窓1 方言と共通語 言葉 (解説) 1 方言と共通語	2	<ul style="list-style-type: none"> ●方言と共通語の特徴について知る。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 『言葉の小窓 1 方言と共通語』を読んで方言で書かれた文を読み比べ、気づいたことを話し合い、方言と共通語について理解を深める。 2 第1時を踏まえ、新しい方言や社会方言について知る。方言と共通語の使い分けについて考え、自分たちの言語生活を振り返る。 	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通語と方言の特徴を踏まえ、進んで課題に取り組もうとしている。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通語と方言の果たす役割について理解している。 	伝国 (1) イ (ア)
5月		日本の花火の楽しみ (内、書1)	5	<ul style="list-style-type: none"> ●筆者のものの見方や考え方を捉え、「日本の花火の魅力」についてまとめる。 ●全体と部分との関係に着目して文章を読む。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 全文を通読し、筆者が読者に問いかけている一文を抜き出し、その答えを一文でまとめる。 2 第二大段落から、日本の花火の美しい形・色を実現するための花火玉の仕組みについて示されているところを抜き出す。 3 第三大段落から、花火師の理想とする花火の「形」や「変化」が示されているところを抜き出し、理想の花火について話し合う。 4 第四大段落の結論部分を踏まえながら、筆者が述べている日本の花火の魅力について、その中の一つを選び、文章にまとめる。 	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者のものの見方や考え方に興味をもち、「日本の花火の魅力」についてまとめようとしている。 <p>◇読む能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章全体と部分との関係に着目して、説明の仕方を捉えて読んでいる。 ・筆者のものの見方や考え方を捉えるとともに、「日本の花火の魅力」についてまとめている。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な概念を表す語句に注意し、その意味を的確に理解して読んでいる。 	C (1)ア C (1)イ 伝国(1)イ (イ) ■言語活動例 C (2)イ
					<ol style="list-style-type: none"> 5 私たちの社会や日常生活の中で思い起こされる「日本の○○の魅力」について、文章にまとめる。 	<p>◇書く能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本の○○の魅力」について、多様な方法で材料を集めながら、自分の考えをまとめている。 	B (1)ア
	一 関係を掘り起こす	【書く】 新聞の投書記事を書く	5	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の意見 (立場) にそって投書記事を書く。 ●「構成の型」を用いて、文章を書く。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 新聞の投書記事を書くための活動の流れと、「構成の型」を確認する。 2 「表現テーマ例集」を参考にして、投書記事のテーマを決める。 3 「構成の型」を用いて投書記事を書く。 4 自分の意見を振り返り、表現や構成に注意して、推敲する。 5 書いた文章を友達と読み合い、意見を交換する。 	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書こうとしている。 <p>◇書く能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら、立場を明確にして、文章の構成を理解して自分の意見を書いている。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開の違いがあることを理解している。 	B (1)ア B (1)イ 伝国(1)イ (オ) ■言語活動例 B (2)イ

		漢字の広場2 漢字の成り立ち	1	●漢字の成り立ちについての理解を深める。	1 漢字の六種類の成り立ちを理解し、身のまわりの漢字を分類する。	◇国語への関心・意欲・態度 ・漢字の成り立ちに興味をもち、それについての知識を深めようとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・漢字の成り立ちの六つの原理について理解している。	伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)
9月	四 表現を見つめる	近代の短歌	3 (内、書1)	●情景や心情を掘り起こし、声に出して短歌を読む。	1 声に出して短歌を読み、情景や心情を味わう。 2 鑑賞文を交流することをとおして、情景や心情を示している表現に着目し、短歌にこめられた思いや感動を読み取る。 3 短歌のきまりを知り、短歌を創作する。	◇国語への関心・意欲・態度 ・内容や表現の仕方について感想を交流しようとしている。 ◇読む能力 ・描写の効果を考え、内容の理解に役立てている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、近代短歌の世界を楽しんでいる。 ◇書く能力 ・情景や心情が効果的に伝わるように取り入れて、創作している。	C(1)ア C(1)イ 伝国(1)ア(ア) ■言語活動例 C(2)ア
		夏の葬列	6	●構成や展開の特徴を捉え、人物の心情の変化について感想を交流する。 ●人物の描写や人称代名詞に着目し、その役割や効果について理解を深める。	1 全文を通して読み、難しい語句について調べ、あらすじを把握する。 2 物語の展開を捉え、感想の交流をとおして読みの課題を設定する。 3 人物の心情の変化を捉え、それについて感想を交流する。 4 結末部分について考えを深め、話し合いをする。 5 物語の展開や表現の工夫がどのような効果をもたらしているか考える。 6 主人公の人称の使い分けを比較し、その効果について話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・人物の描写や人称代名詞に着目し、その役割や効果について理解を深めようとしている。 ◇読む能力 ・構成や展開の特徴を捉え、人物の心情の変化について感想を交流している。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・指示語の役割や効果について理解している。	C(1)イ C(1)ウ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)ア
		【書く】 写真から物語を創作する	4	●表現の仕方を工夫して、物語を創作する。 ●描写や比喻などを用いて、心情を効果的に伝える。	1 写真A、Bの人物像を設定し、比喻や描写を用いて表現する。 2 他の写真と組み合わせる。会話やできごとなどを加え、物語の筋を決める。 3 描写や比喻を用いながら、物語を創作する。 4 作品を読み返し、心情を効果的に伝える工夫について振り返る。	◇国語への関心・意欲・態度 ・表現の仕方を工夫して、物語を創作しようとしている。 ◇書く能力 ・心情が効果的に伝わるように、描写や比喻などを取り入れて書いている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解している。	B(1)ウ 伝国(1)イ(オ) ■言語活動例 B(2)ア
		漢字の練習1	—	—	—	—	伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)
		漢字の広場3 漢字の多義性	1	●漢字の多義性についての理解を深める。	1 漢字の多義性についての理解を深め、熟語を正しく書き表す。	◇国語への関心・意欲・態度 ・漢字の多義性について興味をもち、それについての理解を深めようとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・漢字のもつ複数の異なる意味を理解し、熟語を正しく書き表している。	伝国(1)イ(イ) 伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)

<p>敦盛の最期</p>	<p>3</p>	<p>●登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める。 ●文章の特徴を生かして朗読し、物語に親しむ。</p>	<p>1 『平家物語』冒頭を歴史的仮名遣いに注意して音読し、『平家物語』の中心思想を理解する。 2 「敦盛の最期」を歴史的仮名遣いに注意して音読し、登場人物を確認してせりふの主語を確定する。 3 記述を根拠にして登場人物の心情を読み取ったあと、一人で、あるいは役割を決めて朗読し、作品世界を味わう。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度 ・文章の特徴や内容をおさえて朗読しようとしている。 ◇読む能力 ・登場人物の言動からわかることをノートにまとめ、それを根拠に話し合っている。 ・七五調のリズムや音便、擬態語・擬音語を意識して朗読している。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・歴史的仮名遣いのきまりを理解して、朗読している。</p>	<p>伝国(1)ア(ア) 伝国(1)ア(イ) C(1)イ ■言語活動例 C(2)ア</p>
<p>随筆の味わい</p>	<p>3</p>	<p>●古人のものの見方や考え方に対して、自分の考えをもつ。 ●言葉の意味を正確に捉えながら読み、筆者の思いを想像する。</p>	<p>1 仮名遣いに注意しながら音読し、どのような季節感や人間観が述べられているか課題をもつ。 2 『枕草子』を読んで季節の情景を捉え、感想を交流する。 3 『徒然草』を読んで筆者の考え方を捉え、それに対する自分の考えを文章にまとめる。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度 ・古人のものの見方や考え方に関心をもち、自分の考えを書こうとしている。 ◇読む能力 ・古人のものの見方や考え方に対して、自分の考えをもっている。 ・言葉の意味を正確に捉えながら読み、筆者の思いを想像している。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・古語の意味を正確に捉えている。</p>	<p>伝国(1)ア(イ) C(1)エ ■言語活動例 C(2)イ</p>
<p>二千五百年前からのメッセージ</p>	<p>3</p>	<p>●表現を確かめながら、内容について自分の考えをまとめる。 ●文章の特徴を生かしながら音読したり暗唱したりして、漢文の表現に慣れる。</p>	<p>1 書き下し文を音読したり暗唱したり、現代語訳を確認したりすることで、各章句の意味を捉える。 2 教科書の章句の中から一つを選ばせて、そのよさについて話し合う。 3 『論語』の言葉で心に響いた表現や内容について自分の考えをまとめ、好きな孔子の言葉を暗唱させる。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度 ・文章の特徴や孔子の考えに関心をもち、暗唱しようとしている。 ◇読む能力 ・孔子のものの見方や考え方の中で心に響いた表現や内容について、自分の考えをまとめている。 ・作品の特徴を生かして音読や暗唱をしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・二千五百年前もの昔の言葉が現在もことわざや成句として生き続けている生活を振り返って確かめている。</p>	<p>伝国(1)ア(ア) C(1)エ ■言語活動例 (*)</p>
<p>【書く】 お礼の手紙を書く</p>	<p>4</p>	<p>●相手や目的に応じて、お礼の手紙を書く。 ●「推敲のポイント」にそって手紙を推敲する。</p>	<p>1 誰にどのようなお礼の手紙を書くのかを決め、手紙の形式などについて確認する。 2 「していただいたこと」などをメモに書き出し、手紙の形式を踏まえて下書きをする。 3 教科書P130の「推敲のポイント」にそって下書きを推敲する。 4 友達と下書きを読み合ったあとに清書する。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度 ・相手や目的を意識して、お礼の手紙を書こうとしている。 ◇書く能力 ・書いた手紙を読み返し、語句の使い方、文や段落相互の関係などに注意して、読みやすくわかりやすい文章にしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解している。</p>	<p>B(1)エ 伝国(1)イ(オ) ■言語活動例 B(2)ウ</p>
<p>言葉の小窓3 敬語 言葉(解説) 3 敬語</p>	<p>2</p>	<p>●敬語のはたらきや特徴について知る。</p>	<p>1 敬語のはたらきと用法について理解する。 2 敬語を使って手紙を書き、グループ内で紹介する。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度 ・敬語の種類とはたらきについて理解しようとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・敬語の種類とはたらきについて理解している。</p>	<p>伝国(1)イ(ア)</p>

11月	六 他者と生きる	坊っちゃん	3	<p>●わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。</p>	<p>1 『坊っちゃん』を読み、作品の続きを予想する。</p> <p>2 さまざまな資料を参考にして、近代の小説や物語を探して読む。</p> <p>3 自分の読んだ小説や物語の内容紹介をとおして、近代文学への関心を深める。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>・近代を代表する作家とその作品に興味をもち、近代文学を読もうとしている。</p> <p>◇読む能力</p> <p>・作品に登場する人物や、作品のあらすじを捉えている。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>・近代文学に使われている語句や表現の効果について考えている。</p>	<p>C(1)オ 伝国(1)ア(イ)</p> <p>■言語活動例</p> <p>C(2)ウ</p>
		水の山 富士山	3	<p>●富士山の恵みについて、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。</p> <p>●取り上げている事例の提示の仕方と、問いと答えの関係を確かめながら読む。</p>	<p>1 全文を通して読んで概要を捉え、小見出しを考えながら段落分けをする。</p> <p>2 事例の提示や、問いと答えの関係を確かめながら読む。</p> <p>3 富士山の恵みについての筆者の考えを捉え、それについての自分の考えをまとめる。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>・筆者の考えや説明的文章の表現について関心をもち、自分の考えを述べようとしている。</p> <p>◇読む能力</p> <p>・筆者の考えや文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめている。</p> <p>・事例の提示の仕方を的確に把握し、筆者の論の組み立てをおさえて、筆者が解明した「富士山の原理」を捉えている。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>・文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えている。</p>	<p>C(1)ア C(1)イ C(1)ウ 伝国(1)イ(ウ)</p> <p>■言語活動例</p> <p>C(2)イ</p>
		ガイアの知性 (内、話 聞1)	5	<p>●自然や知性に対する筆者の考え方について、自分の考えをまとめる。</p> <p>●文章の構成や展開、表現の仕方確かめながら、筆者の考えの根拠を明確にして読む。</p>	<p>1 全文を通読し、問題と主張の関係を把握したうえで、「鯨と象」と「人間の二つの「知性」の対比構造を捉える。</p> <p>2 第一大段落の二つの問題提起を捉え、第二大段落以降の解決に関わる重要語句を見いだす。また、第二大段落では、「鯨や象」の「高度な『知性』」の実体を捉える。</p> <p>3 第三大段落では、全体を集約する「攻撃的な知性」と「受容的な知性」の関係を捉え、それをもとにしている筆者の提言・主張の妥当性について判断する。</p> <p>4 筆者の主張に対する自分の意見を文章にまとめる。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>・自然や知性に対する筆者の考え方について関心をもち、自分の考えをもちようとしている。</p> <p>◇読む能力</p> <p>・筆者の提言・主張に対して自分なりの考えを形成し、文章などに表現している。</p> <p>・文章全体と部分との関係に着目して読み、筆者のものの見方や考え方、および主張について捉えている。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>・抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句に注意し、その意味と類義や対義の対応関係を的確に理解して読んでいる。</p>	<p>C(1)ア C(1)イ C(1)ウ C(1)エ 伝国(1)イ(ウ)</p> <p>■言語活動例</p> <p>C(2)イ</p>
		漢字の練習 2	—	—	—	—	<p>◇話す・聞く能力</p> <p>・異なる立場や考えを踏まえて自分の考えをまとめて話すとともに、話の論理的な構成に注意して聞き、自分の考えと比較している。</p>
		漢字の練習 2	—	—	—	—	<p>伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)</p>

1 2 月	【話す聞く】 話を聞いて自分の考えと比べる	4	● 友達のスピーチを聞いて、自分の考えと比べる。 ● 論理や構成の仕方を評価しながら聞く。	1 自分の考えを広げるための聞き方について確認する。 2 話す側、聞く側の役割を確認し、聞き手はスピーチを聞き、自分の考えと比較しながら評価する。 3 前時の学習を振り返り、友達のスピーチを聞く。 4 自分の考えがどのように広がったのかをまとめる。よりよい聞き方について友達と話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・話し手が話しやすい聞き方について考えたり、話を聞いて意見を述べたり質問をしたりしようとしている。 ◇話す・聞く能力 ・話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較している。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開の違いがあることを理解している。	A (1)エ 伝国(1)イ (オ) ■言語活動例 A (2)ア
	【書く】 意見文を読み合う	4	● 筆者の主張に対する意見文を書く。 ● 互いに読み合い、文章の表現を高める。	1 『ガイアの知性』を読み、筆者の自然観(主張)を捉え、自分の考えをもつ。 2 「序論—本論—結論」の構成で、根拠をあげて、意見文を書く。 3 書いた文章を推敲する。 4 「交流カード」や付箋などを用いて、友達と文章を読み合ったあとに、清書する。	◇国語への関心・意欲・態度 ・多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書こうとしている。 ◇書く能力 ・書いた文章を互いに読み合い、文章の構成などについて、意見を述べたり助言したりしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開の違いがあることを理解している。	B (1)オ 伝国(1)イ (オ) ■言語活動例 B (2)イ
	文法の小窓 2 活用のある自立語 文法(解説) 2 活用のある自立語	3	● 用言の活用と種類・用法を理解する。	1 活用のある自立語について理解を深める。 2 「解説」を参考に、動詞の種類や役割について理解を深める。 3 「解説」を参考に、形容詞や形容動詞の活用や役割について理解を深める。	◇国語への関心・意欲・態度 ・用言の活用を中心に、それぞれの品詞の性質とはたらきについて理解しようとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・用言の活用を中心に、それぞれの品詞の性質とはたらきについて理解している。	伝国(1)イ (エ)
1 月	学ぶ力	5 (内、書 1)	● 筆者のものの見方や考え方を捉え、知識や体験と関連づけて自分の考えをまとめる。 ● 文章全体と部分との関係や、例示などの効果を捉える。	1 全文を通して読み、文章の構成や展開に注意して概要を捉える。 2 全文を、提案・解説・例示の観点から整理し、「学ぶ力が伸びる」条件をまとめる。 3 筆者の主張を読むことをとおして、自分の体験を思い起こしたり考えを深めたりする。 4 文章の構成や例示などの、表現の工夫や効果について考える。	◇国語への関心・意欲・態度 ・筆者のものの見方や考え方に関心を持ち、知識や体験と関連づけて自分の考えをまとめようとしている。 ◇読む能力 ・筆者のものの見方や考え方を捉え、知識や体験と関連づけて自分の考えをまとめている。 ・文章の全体と部分との関係や、例示などの効果を捉えている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開の違いがあることを理解している。	C (1)ア C (1)イ C (1)エ 伝国(1)イ (オ) ■言語活動例 C (2)イ
			5 筆者の考えを踏まえて、小学校からの学びを振り返り、文章にまとめる。	◇書く能力 ・事実や事柄、意見が効果的に伝わるように、説明や具体例を加えて書いている。	B (1)ウ	

七 自己と対話する	【書く】 四コマ漫画から意見文を書く	6	●複数の考え方があ問題について、意見文を書く。 ●自分の主張の根拠を示して、文章を書く。	1 根拠が明確な文章を書くための順序や方法について理解する。 2 四コマ漫画を読んで自分の「課題」をもつ。 3 自分の考えを「事実」「理由づけ」「主張」の形で整理し、「主張」の根拠を明確にする。 4 「頭括型」「尾括型」「双括型」から構成を選び、意見文を書く。 5 書いた文章を推敲する。 6 友達と文章を読み合い、説得力のある文章について考える。	◇国語への関心・意欲・態度 ・多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書こうとしている。 ◇書く能力 ・自分の立場を明確にして、「事実」「理由づけ」「主張」を整理し、根拠をあげて、文章を書いている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・相手や目的に応じた文章の形態や展開の違いを理解している。	B(1)ア B(1)イ B(1)ウ B(1)エ B(1)オ 伝国(1)イ(オ) ■言語活動例 B(2)イ
	言葉の小窓4 類義語・対義語・多義語・同音語 言葉(解説) 4 類義語・対義語・多義語・同音語	2	●日常生活で使う言葉を、いつもと違った視点から捉え直す。	1 類義語と対義語の意味や特徴を理解し、例文を調べたり、考えたりして用法を知る。 2 多義語や同音語の意味や特徴を理解し、例文を調べたり、考えたりして用法を知る。	◇国語への関心・意欲・態度 ・類義語と対義語、多義語や同音語について、興味をもって学習しようとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・類義語と対義語、多義語や同音語について理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	伝国(1)イ(イ)
	漢字の練習3	—	—	—	—	伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)
	レモン哀歌	1	●語りかける言葉に向き合って、思いと向き合う。	1 「レモン」のもつ意味や作者の実像などを重ねて詩を朗読することで、作品の世界を味わう。	◇国語への関心・意欲・態度 ・詩の内容や表現について、捉えようとしている。 ◇読む能力 ・詩の内容や表現に注目し、「わたし」が「あなた」にどのような思いをもっているかを想像している。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・「レモン」という語句に託された象徴的な意味について理解している。	C(1)ウ C(1)エ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)ア
	【話す聞く】 反対意見を想定して話すには	—	(●相手に納得してもらえように表現する。) (●反対意見を想定し、それに対する答えを考える。)	1 話し合いのテーマを決定し、自分の立場とその理由、根拠を考え、反対意見を想定し、答えを考えて話す。	◇国語への関心・意欲・態度 ・相手に納得してもらうために、情報を収集したり根拠を明確にしたりして、意見を組み立てようとしている。 ◇話す・聞く能力 ・根拠となる材料を整理し、根拠をもとに反対意見に対する答えを考えて話している。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・相手や目的に応じて話や文章の形態や展開の違いがあることを理解している。	A(1)ア A(1)イ 伝国(1)イ(オ) ■言語活動例 A(2)ア
	文法の小窓3 付属語のいろいろ 文法(解説) 3 付属語のいろいろ	2	●付属語にはどのようなものがあるのかを知る。	1 教材文と「解説」を読み、助詞や助動詞のはたらきについて理解する。 2 助詞の役割とはたらき、助動詞の種類とはたらきについて理解する。	◇国語への関心・意欲・態度 ・付属語の種類とその用法について知ろうとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・付属語の種類とその用法について理解している。	伝国(1)イ(エ)

八 考えを交流する	漢字の広場4 同音の漢字	1	●同音の漢字についての理解を深める。	1 同音の漢字について理解し、身のまわりの同音語を見つける。	◇国語への関心・意欲・態度 ・同音の漢字について興味をもち、それについての知識を深めようとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・同音の漢字について理解し、その意味の違いに注意しながら正しく使っている。	伝国(1)イ(イ) 伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)
	走れメロス	7 (内、書1)	●登場人物や語り手のものの見方や考え方についての理解を深め、自分の考えをもつ。 ●描写や人称の使い分けなどに着目し、人物像や心情を表すうえでの役割や効果を抑える。	1 全文を通読し、新出漢字や難意語句について理解する。 2 全体の構成を捉え、第一場面、第二場面を音読し、状況(場面)設定や、人物設定についてまとめる。 3 第三場面、第四場面を音読し、できごとをまとめるとともに、そのことについての自分の考えもまとめる。 4 第五場面、第六場面を音読し、メロスとセリヌンティウスの言動や心情、ディオニスの変化を抑え、そのことについて自分の考えをまとめる。 5 シラーの『人質』と比べ読みをすることにより、『走れメロス』に特徴的な点を明らかにする。 6 語りの特徴を踏まえて読みをまとめ、感想や意見を交流することによって自分の考えをもつ。	◇国語への関心・意欲・態度 ・文章に表れているものの見方や考え方について関心をもち、自分の考えをまとめようとしている。 ◇読む能力 ・文章に表れているものの見方や考え方について理解し、自分の考えをもっている。 ・描写や人称の使い分けなどに着目し、人物像や心情を表すうえでの役割や効果を抑えている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・文章に用いられるさまざまな表現に着目し、その効果について考えている。	C(1)イ C(1)エ 伝国(1)ア(ア) ■言語活動例 C(2)ア
				7 サイドストーリーとして「空白の三日間」を自由に想像し創作することで、読みを深める。	◇書く能力 ・描写や心情が相手に効果的に伝わるように書いている。	B(1)ウ
3月	【話す聞く】 役割を決めて討論する	5	●目的や自分の役割をふまえて、グループで討論する。 ●相手の意見を尊重し、自分の考えを広げる。	1 社会生活の中からの話題を決め、自分の考えをもつ。 2 「話すこと」「聞くこと」の既習事項を確認する。また、役割や討論のあり方を理解する。 3 テーマと役割を決めて、グループで討論を行う。 4 前時の課題を踏まえ、役割を変えて、討論を行う。 5 討論を振り返り、役割を決める意義について考える。	◇国語への関心・意欲・態度 ・社会生活の中の話題について、司会や提案者などを立てて討論を行うようとしている。 ◇話す・聞く能力 ・相手の立場や考えを尊重し、目的にそって話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・相手や目的に応じて、話や文章の形態に違いがあることを理解している。	A(1)オ 伝国(1)イ(オ) ■言語活動例 A(2)イ
	漢字の練習4	—	—	—	—	伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)

時数合計 118時間(内、話すこと・聞くこと15時間、書くこと30時間)

※本表中、「反対意見を想定して話すには」「漢字の練習」の時数や学習活動などについては、適宜扱う。

※本表中、「教材目標」欄に()で示してあるものは、教科書では目標として示していないが、想定される目標として設定したものである。

※本表に記載のない教材(「四季のたより」「本の世界へ」「言葉と仕事」「ことばの散歩道」「言葉の自習室」)については、適宜扱う。

平成30年度 国語科【第3学年】年間指導計画・評価計画

指導時期	単元	教材名	配当 時数	教材目標	学習活動の流れ	評価規準例	学習指導要領との 対応 (*)は本教科書独自の言語活動例	
4月	一 言葉を探る	春に	1	●言葉の中の春を読む。	1 「この気もちはなんだろう」という表現の繰り返しに注意して、詩の中の「春」を読む。	◇国語への関心・意欲・態度 ・詩に描かれた思いを自分の心と比べて考えようとしている。 ◇読む能力 ・詩に描かれた思いの内容や表現の効果について自分の考えを述べている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・この詩の中で用いられた表現方法の工夫について理解している。	C(1)ア C(1)ウ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)ア	
		【話す聞く】一言でまとめ一言から広げる	1	(●要約や体験談にふさわしい表現のあり方を考える。) (●どのようにすれば効果的に表現できるかを考える。)	1 グループで、一人が最近のできごとを話し、それを聞いた他のメンバーが一言でまとめ、その一言からさらに思い浮かぶ体験を別のメンバーが話す、というような活動を続けていく。	◇国語への関心・意欲・態度 ・話を聞いて、その内容から自分の体験を思い起こして話そうとしている。 ◇話す・聞く能力 ・自分の体験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使ってわかりやすく話している。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・慣用句や四字熟語などを用いて一言でまとめる、豊かな語彙をもっている。	A(1)ア A(1)イ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 A(2)ア	
		立ってくる春	2	●表現上の工夫とその効果に注意して読み、作品の魅力を味わう。	1 どのようなところに筆者は「春が立つ」ことを発見しているのかを読む。 2 筆者の発見に対する自分の考えをもち、作品の魅力を味わう。	◇国語への関心・意欲・態度 ・表現に着目しながら、作品の魅力を味わおうとしている。 ◇読む能力 ・文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読んでいる。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・季節感を表す語句や仮名や漢字の使い分けなどに注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	C(1)ア 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)ア	
		漢字の練習1	—	—	—	—	—	伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)
		私	4	●場面や登場人物の設定の仕方を捉え、作品を読み深める。 ●作品を読み、人間、社会などについて思いを巡らせ、自分の意見をもつ。	1 物語の中の「市民対応」とはどのようなできごとかを捉え、あらすじをまとめる。 2 役所に来た「女性」は何を問題にしているのかを読み取る。 3 図書館に行った「私」からどのような人物像を読み取ることができるか考える。 4 場面や登場人物の設定の仕方について、考えたことを話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・意欲をもって作品を読み深め、批評していくなかで、情報としての言葉とその問題に関心をもとうとしている。 ◇読む能力 ・場面や登場人物の設定の仕方を捉え、作品を読み深めている。 ・作品を読み、人間、社会などについて思いを巡らせ、自分の意見をもっている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・言葉の使い分けに注意し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。	C(1)イ C(1)エ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)ア	

	【書く】 広告を批評する	3	● 広告を比較して、批評文を書く。 ● 効果的な構成について自分の考えを深める。	1 広告のコピーを比較して、自分の考えをもつ。 2 自分の意見を効果的に伝えるために構成を考え、批評文を書く。 3 書いた文章を読み合い、構成や表現の工夫について話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・関心のある事柄について、批評する文章を書こうとしている。 ◇書く能力 ・広告のコピーを比較し、自分の考えを深めるとともに、構成を選択して文章にまとめている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・効果的な語句を選び、語感を磨き語彙を豊かにしている。	B (1)ア 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 B (2)ア
	漢字の広場 1 呉音・漢音・唐音	1	● 漢字の音の歴史についての理解を深める。	1 複数の音をもつようになった歴史的経緯と音の種類について理解し、用法を整理する。	◇国語への関心・意欲・態度 ・漢字の音の歴史について興味をもち、理解を深めようとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・複数の音をもつ漢字の用法を整理し、正しく使っている。	伝国(1)イ(イ) 伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)
5月	「新しい博物学」の時代 (内、話聞1)	5	● 筆者のものの見方や考え方をもち、理科系と文科系の知識の関係について自分の意見をまとめる。 ● 文章における論理の構成や展開、文脈における語句の効果的な使い方などを理解する。	1 全文を通読し、三つの大段落に小見出しをつけて整理し、初発の感想をまとめる。 2 博物学からさまざまな科学が発達していった歴史や、筆者のいう「新しい博物学」について理解する。 3 現代の天文学と過去の文献との結びつきなどの例から筆者の問題提起について、表や図に整理しながら論理の展開の仕方を理解し、自分の考えをもつ。 4 「新しい博物学」という考え方はどのようなものなのか、論理の展開の仕方を捉えて文章にまとめる。	◇国語への関心・意欲・態度 ・筆者のものの見方や考え方、理科系と文科系の知識の関係に関心をもち、自分の考えをまとめようとしている。 ◇読む能力 ・筆者のものの見方や考え方を捉えるとともに、理科系と文科系の知識の関係について、自分の考えをまとめている。 ・文章における論理の構成や展開、文脈における語句の効果的な使い方などを理解している。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・論理の展開を表す言葉や、本文のキーワードとなる言葉の文脈上の意味を捉えている。	C (1)ア C (1)イ C (1)ウ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C (2)イ
				5 中学校の学びの中から、理科系と文科系の知を結びつけることで、どのような発見があるかについて話し合う。	◇話す・聞く能力 ・話し合いをとおして、互いの考えを生かしながら、課題についての考えを深めている。	A (1)エ
二 関係を生きる	漢字の練習 2	—	—	—	—	伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)
	【話す聞く】 話を聞いて自分の表現に生かす	3	● 講演を聞き、話の内容や話し方のよい点に学ぶ。 ● 話を聞き、自分のものの見方や考え方を深める。	1 活動の流れを確認し、講演のテーマについて自分の考えをもつ。 2 講演を聞き、講演者の主張に対する自分の考えをまとめ、内容や表現の仕方のよい点に学ぶ。 3 前時でまとめた考えを、相互に交流して伝え合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・講演を聞いて、自分の考えを深め、自分の表現に生かそうとしている。 ◇話す・聞く能力 ・講演を聞いて、その内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを深めたり、表現に生かしたりしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・慣用句・四字熟語などに関して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	A (1)ウ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 A (2)ア
	漢字の広場 2 熟字訓	1	● 熟字訓についての理解を深める。	1 熟字訓についての理解を深め、正しく書き表す。	◇国語への関心・意欲・態度 ・熟字訓について興味をもち、理解を深めようとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・熟字訓の読み方を理解し、正しく使っている。	伝国(1)イ(イ) 伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)

6月	<p>言葉の小窓1 和語・漢語・外来語</p> <p>言葉（解説） 1 和語・漢語・外来語</p>	1	<p>●和語・漢語・外来語について理解し、効果的に使い分ける。</p>	<p>1 和語・漢語・外来語のもつ印象の違いを考える。それぞれの語種の成り立ちをおさえ、場面に応じた使い分け方について考える。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度 ・和語・漢語・外来語について興味をもち、それぞれの語種のもつ印象の違いをすすんで考えようとしている。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能 ・和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>	伝国(1)イ(イ)
	無言館の青春	2	<p>●目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする。</p>	<p>1 「無言館」に展示されている絵や添えられた言葉に対する筆者の考え方について、自分の考えをまとめ、話し合いながら理解を深める。</p> <p>2 自分の読書生活を振り返り、本の紹介をとおして読書に対する関心を広げる。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度 ・自分の読書生活を振り返ろうとしている。</p> <p>◇読む能力 ・本や文章を読み、自分の考えや知識を広げている。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能 ・『無言館の青春』に描かれたさまざまな表現について考えている。</p>	C(1)オ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)ウ
	情報を編集するしかけ	3	<p>●同一の新聞記事・テレビニュースの報道を比較して読む。</p>	<p>1 教材文を読み、①と②の画面がどのように使われているかを知り、情報の発信者の意図について理解する。</p> <p>2 新聞記事を構成する学習とテレビニュースを作成する学習をとおして、情報を編集するしかけへの理解を深める。</p> <p>3 作成した新聞とテレビニュースについて、自分が選んだ情報と構成を振り返る。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度 ・情報伝達の手法の違いを理解し、比較しながら読もうとしている。</p> <p>◇読む能力 ・論説や報道などを読み比べることをとおして、その表現の仕方などを評価している。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能 ・語句に注意して、言葉に関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>	C(1)ウ C(1)オ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)イ
7月	<p>言葉の小窓2 慣用句・ことわざ</p> <p>言葉（解説） 2 慣用句・ことわざ</p>	1	<p>●慣用句とことわざのはたらきや使い方を理解する。</p>	<p>1 慣用句やことわざの例を知ることをおして、自身の言葉を増やしたり言葉に対する興味・関心を深めたりする。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度 ・慣用句やことわざなど生活言語に興味・関心をもとうとしている。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能 ・慣用句やことわざなどに関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>	伝国(1)イ(イ)
	<p>文法の小窓1 活用のない付属語</p> <p>文法（解説） 1 活用のない付属語</p>	2	<p>●付属語の用法を知り、自分で考えてみる。</p>	<p>1 助詞の違いが文の意味に与える影響について知り、助詞の種類と基本的なはたらきについて理解する。</p> <p>2 それぞれの助詞の特徴と主な用法について理解する。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度 ・助詞の違いが文の意味に与える影響などに目を向けようとしている。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能 ・助詞のはたらきについて、個々の用例を振り返り、体系的に理解している。</p>	内容の取扱い2(1)ア (2年 伝国(1)イ(エ))

9月	四 論理を問う	歴史は失われた過去か	3	<ul style="list-style-type: none"> ●「歴史の記憶」の価値とはどのようなことか、筆者の考えに対する自分の意見をもつ。 ●事例の取り上げ方や述べ方の工夫を捉え、筆者の提起している課題を共有する。 	<p>1 筆者のいう「記憶」と「知識」の違いを考えながら本文を読み、「歴史の記憶」について理解を深める。</p> <p>2 筆者の説明の工夫を読み取り、文章の内容理解とどのように関連しているか考える。</p> <p>3 筆者のいう「歴史と人間の結びつき」について、具体的にはどのようなことか話し合う。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通するテーマをもつ二つの文章を比較して読もうとしている。 <p>◇読む能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み比べるなどして、構成や表現の仕方について評価し、筆者の考えに対する自分の意見をもっている。 ・筆者の主張について、用語の説明を丁寧に理解しつつ、主張の根拠となる事実や事例について、共感、賛成、疑問などの判断を行い、適切に関係づけながら読んでいく。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の言葉の使い分けに注意して読み、言葉に関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<p>C(1)イ C(1)ウ C(1)エ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)イ</p>
		文化としての科学技術	5 (内、書2)	<ul style="list-style-type: none"> ●筆者は現代の「科学技術」をどのように捉えているのか、筆者の考えに対する自分の意見をもつ。 ●事例と主張の関係を捉え、筆者の提起している課題を共有する。 	<p>1 筆者の確信と問題意識は何を根拠に書かれているのかを整理しながら読む。</p> <p>2 筆者の論理の展開や表現の仕方の工夫を整理しながら読み、自分の考えをまとめる。</p> <p>3 筆者のいう「科学技術と人間との関係」「科学技術を文化として捉える」に対する自分の考えを話し合い、その考えを深める。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通するテーマをもつ二つの文章を比較して読もうとしている。 <p>◇読む能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み比べるなどして、構成や表現の仕方について評価し、筆者の考えに対する自分の意見をもっている。 ・筆者の主張について、その理由や根拠となる事実や事例について、共感、賛成、疑問などの判断を行い、適切に関係づけながら読んでいく。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えを適切に表す言葉や表現に注意して、言葉に関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<p>C(1)イ C(1)ウ C(1)エ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)イ</p>
				<p>4 内山氏と毛利氏の文章の特徴について書かれた「ここが大事」の段落A・Bに、具体例や解説を加筆・修正しながら詳しく書き直す。</p> <p>5 二つの文章を比較して読み、これからの時代について、自分の考えを四百字程度で文章にまとめる。</p>	<p>◇書く能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活の中から「これからの時代」について話題をしぼり、二つの文章を読み比べながら自分の考えをまとめている。 	B(1)ア	
		【書く】 図表などの資料から文章を書く	4	<ul style="list-style-type: none"> ●図表を読み取り、条件をふまえ、意見文を書く。 ●引用の仕方や論理の展開に注意し、文章を書く。 	<p>1 課題を確認して、資料を正確に読み取る。</p> <p>2 構成や字数など、課題に示された条件を踏まえ、意見文を書く。</p> <p>3 言葉づかいや論理の展開などに注意して、推敲する。</p> <p>4 文章を読み合い、資料から読み取ったことについて話し合う。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図表などから読み取れることをもとに、自分の考えを文章にまとめようとしている。 <p>◇書く能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の引用の仕方や論理の展開に注意して、説得力のある意見文を書いている。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図表などから読み取ったことを伝える表現の仕方に注意して、言葉に関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<p>B(1)イ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 B(2)ア</p>

<p>言葉の小窓3 敬語（社会の中での活用）</p> <p>言葉（解説）3 敬語（社会の中での活用）</p>	2	<p>●敬語の社会的役割について理解する。</p>	<p>1 『言葉の小窓 3 敬語』を読んで課題意識をもち、敬語を社会の中で活用するための練習として「確かめよう」の課題に取り組む。</p> <p>2 「確かめよう」のインタビューの言葉や、依頼の手紙を発表し合い、敬語の適切な使い方を学ぶ。さらに敬語の誤用やゆれについて考える。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度 ・敬語の社会的役割を理解し、日常生活で適切に使おうとしている。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能 ・敬語の社会的役割を理解し、さまざまな場面で適切に敬語を使っている。</p>	伝国(1)イ(ア)
<p>文法の小窓2 活用のある付属語</p> <p>文法（解説）2 活用のある付属語</p>	2	<p>●付属語の役割について理解する。</p>	<p>1 助動詞の役割を理解し、その種類とはたらきを整理する。</p> <p>2 活用表などを利用して助動詞の意味や用法、接続の仕方について理解を深める。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度 ・助動詞の意味が文の意味に与える影響などに目を向けようとしている。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能 ・助動詞のはたらきについて理解し、文章を読んだり書いたりする際に学んだ知識を役立て、活用表などを使って知識を体系的に整理している。</p>	内容の取扱い2(1)ア(2年 伝国(1)イ(エ))
<p>漢字の練習3</p>	—	—	—	—	伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)
<p>旅への思い</p>	3	<p>●情景や心情について話し合ったり、古典の一節を引用した文章を書いたりする。</p> <p>●歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解して味わう。</p>	<p>1 教材冒頭部を読み、芭蕉や『おくのほそ道』について知る。また、「旅立ち」の部分を読み、芭蕉の旅に対する思いについて文章にまとめる。</p> <p>2 「平泉」を読み、平泉の情景とそこを訪れた時の芭蕉の心情を想像し、発表する。</p> <p>3 「立石寺」を読み、立石寺の情景とそこを訪れた時の芭蕉の心情を想像し、発表する。また、本文中から印象的な表現を見つけ出し、引用して文章を書く。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度 ・関心をもった俳句を選び、紹介文を書こうとしている。</p> <p>◇読む能力 ・各場面の情景や心情について話し合ったり、印象に残った句を引用してその内容を紹介する文章を書いたりしている。</p> <p>・歴史的背景に注意しながら読み、表現の特徴を捉えている。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能 ・各場面の情景やそこに示されている心情を表現する語句に着目して、表現の特徴を捉えている。</p>	伝国(1)ア(ア) 伝国(1)ア(イ) C(1)ア ■言語活動例 C(2)ア
<p>和歌の調べ</p> <p>(内、書1)</p>	4	<p>●古人のものの見方や考え方について、話し合ったり、文章を書いたりして、自分の考えを深める。</p> <p>●和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、響きを味わう。</p>	<p>1 三大和歌集について学ぶ。また、和歌の意味を考えながら和歌を音読し、その響きを味わう。</p> <p>2 和歌を一首選んで書き写し、その歴史的背景や作者の心情について、調べたり考えたりする。</p> <p>3 自然や人間に対する作者の思いについて考えをまとめ、友達と交流する。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度 ・和歌にこめられた作者のものの見方や考え方に興味をもち、鑑賞文を書こうとしている。</p> <p>◇読む能力 ・古人のものの見方や考え方を捉え、友達と話し合ったり文章を書いたりして、自分の考えを深めている。</p> <p>・和歌の技法や句切れなどの特徴や作品の歴史的背景を理解しながら、歌の響きやリズムを味わって読んでいる。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能 ・和歌の技法や句切れなどの特徴を理解している。</p>	伝国(1)ア(ア) 伝国(1)ア(イ) C(1)エ ■言語活動例 C(2)ア
			<p>4 歌の背景や作者について調べたり、詠まれている情景や自然を想像したりして鑑賞文を書き、書いた文章を交流する。</p>	<p>◇書く能力 ・論理の展開に工夫しながら、説得力のある文章を書いている。</p>	B(1)イ

文化をつなぐ	【書く】 和歌の鑑賞文を書く	3	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の表現を高めるために、和歌の鑑賞文を書く。 ●より適切な表現を旨とし、文章全体を整える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 和歌を読んで、興味をもったことや感じたことを中心にして、鑑賞文を書く。 2 書いた文章を推敲して、文章全体を整える。 3 書いた文章を読み合い、感想をもとに交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国語への関心・意欲・態度 ・自分の表現を高めるために、関心のある和歌を取り上げ、鑑賞文を書くようしている。 ◇書く能力 ・書いた文章を読み返して、文章全体を整えている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・和歌の表現を引用して、古典に関する鑑賞文を書いている。 	B (1)ウ 伝国(1)ア (イ) ■言語活動例 (*)
風景と心情		3	<ul style="list-style-type: none"> ●歴史的背景をふまえて話し合い、情景の描写を捉え、心情を理解して考えを深める。 ●詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱し、作品の響きを味わう。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 漢文の基本的なきまりについて復習し、漢詩の基本的なきまりについて学んだあと、『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』『春望』を音読する。 2 『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』『春望』の内容を把握し、歴史的背景を踏まえて作者の心情を考える。 3 『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』『春望』を、情景や作者の心情とその表現の仕方について批評し、言葉の響きやリズムに注意して暗唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国語への関心・意欲・態度 ・漢詩の表現の工夫に興味をもち、学習しようとしている。 ◇読む能力 ・漢詩の歴史的背景を踏まえ、情景の描写や作者の心情を理解して、自分の考えを深めている。 ・語句の効果的な使い方、表現上の工夫に注意して読んでいる。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・漢詩の形式を知り、その言葉の響きやリズムなどに注意して暗唱している。 	伝国(1)ア (ア) C (1)ア ■言語活動例 C (2)ア
最後の一句		2	<ul style="list-style-type: none"> ●わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 『最後の一句』を読み、描かれた人物や状況についての感想を話し合う。 2 森鷗外の他の作品の紹介文を作成し、感想を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国語への関心・意欲・態度 ・本の選び方や読み方について考えたり、自分の選んだ本を紹介したりしようとしている。 ◇読む能力 ・近代の名作を読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・作品の独特の言葉づかいや語句をとおして、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 	C (1)オ 伝国(1)イ (イ) ■言語活動例 C (2)ウ
漢字の練習 4		—	—	—	—	伝国(1)ウ (ア) 伝国(1)ウ (イ)
漢字の広場 3 異字同訓		1	<ul style="list-style-type: none"> ●異字同訓についての理解を深める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 異字同訓について理解し、正しく使うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国語への関心・意欲・態度 ・異字同訓に興味をもち、理解を深めようとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・異字同訓について理解し、その意味の違いに注意しながら正しく使っている。 	伝国(1)イ (イ) 伝国(1)ウ (ア) 伝国(1)ウ (イ)
近代の俳句		2 (内、書1)	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉の意味を掘り起こして読む。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 『近代の俳句』で紹介されている俳句から、一句を選び、声に出して読むなどしながら情景を捉え、作者の思いを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国語への関心・意欲・態度 ・俳句を読んで、優れた表現や内容を批評しようとしている。 ◇読む能力 ・俳句を比較し、構成や表現の工夫などを評価して読んでいる。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・俳句の形式を知り、俳句を声に出して読み、その世界に興味・関心をもって親しんでいる。 	C (1)ア C (1)ウ 伝国(1)ア(ア) ■言語活動例 C (2)ア

			2 「歳時記」を活用して「季語」を決め、実際に俳句を作り、俳句に親しむ句会を行う。	◇書く能力 ・互いに作った俳句を読み合い、優れた表現の仕方などを評価し自分の表現に役立てている。	B(1)エ
初恋	1	●表現上の工夫に注意して、暗唱する。	1 「文語定型詩」の特徴を捉えながら、暗唱することをとおして詩を味わう。	◇国語への関心・意欲・態度 ・詩の表現や内容に注意して、文語定型詩の魅力を理解しようとしている。 ◇読む能力 ・この詩の特徴が文語定型詩であることを理解している。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・この詩が生まれた歴史的背景について理解し、詩の内容を理解している。	C(1)イ C(1)ウ 伝国(1)ア(ア) ■言語活動例 C(2)ア
故郷	7 (内、書1)	●「私」の抱いた「希望」や社会の中での人間の生き方について考え、自分の意見をもつ。 ●場面や登場人物の設定のされ方、構成や展開に着目し、作品を批評する。	1 小説の全体像をつかむ。作品を五つの場面に分け、それぞれのできごとを時間の順序に従って整理する。 2 「私」と「閩土」との出会いを読み、少年「閩土」が「私」にとって、どのような存在であったのかを考える。 3 「楊おばさん」と(大人になってからの)「閩土」と「私」の関係について読み取る。 4 故郷の人々の姿が、「私」の目にはどのように映っていたのか、読み取ったことや考えたことを話し合う。 5 「私」の中の故郷がどうなっているのかを捉え、「希望」とは何かについて話し合う。 6 『故郷』という小説が何を提起しているのか、読み取ったこと、考えたことを話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・作品を読んで批評したり文章を書いたりしようとしている。 ◇読む能力 ・「私」の抱いた「希望」の内容を理解し、社会の中での人間の生き方を考えている。 ・現在と過去の対比表現に注意して内容を理解し、作品の構成について考えている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・言葉の使い方に注意し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	C(1)イ C(1)ウ C(1)エ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)ア
			7 登場人物の「人物ファイル」を作って、作品が描こうとした人物像を理解する。	◇書く能力 ・「人物ファイル」を書くことをとおして、自分の考えを深めている。	B(1)ア
【書く】 自己PR文を読み合う	2	●中学校生活を振り返り、自己PR文を書く。 ●文章を読み合い、自分の表現に生かす。	1 三年間を振り返り、自分の経験から得られたことなどを、構成や表現の仕方に注意して、自己PR文にまとめる。 2 交流カードを活用して、自己PR文を読み合い、自分の文章の参考になる点などを踏まえて清書する。	◇国語への関心・意欲・態度 ・三年間の中学校生活を振り返り、自分の経験から得られたことを自己PR文にまとめようとしている。 ◇書く能力 ・自己PR文を読み合い、論理の展開や表現の仕方を評価して、自分の表現に生かしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・わかりやすい語句を選んだり表現を工夫したりして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	B(1)エ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 (*)

12月	【話す聞く】 スピーチで学び を振り返る	2	<ul style="list-style-type: none"> ● 経験を整理し、スピーチで自分のよさを伝える。 ● 敬語を用いて、場の状況や聞き手に応じて話す。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 中学校生活を振り返り、話題を選び、構成を工夫して、自己PRのスピーチの準備をする。 2 模擬面接など、場の状況を設定してスピーチを行う。聞き手の立場になったときは、スピーチを聞いて自分の表現の参考にする。最後に互いのスピーチについて評価し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間や場の条件に合わせて言葉を選びながらスピーチをし、自分のよさを伝えようとしている。 ◇ 話す・聞く能力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 三年間の中学校生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や敬語を効果的に使い、説得力のある話をしている。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し言葉の特徴を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	A(1)ア A(1)イ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 A(2)ア	
	漢字の広場4 四字熟語	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 四字熟語についての理解を深める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 四字熟語について理解し、正しく使うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 四字熟語について興味をもち、理解を深めようとしている。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまな四字熟語について理解し、正しく使っている。 	伝国(1)イ(イ) 伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)	
1月	七 対話をひらく	【話す聞く】 課題を解決するために話し合う	4	<ul style="list-style-type: none"> ● 進行の仕方についてを工夫して、話し合いを深める。 ● 課題の解決に向け、互いの考えを生かし合う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会生活の中から課題を見つけ、自分の考えをまとめる。 2 「話すこと」「聞くこと」の既習事項を確認する。互いの考えを生かし合うための方法を考える。 3 話し合いを行い、課題の解決のための「提言」をまとめる。 4 話し合いを振り返り、自分の考えや意見をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会生活の中から議題を決め、進行にそって、相手を説得するために意見を述べ合おうとしている。 ◇ 話す・聞く能力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合っている。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切に敬語などを使い、社会生活の中で適切な言葉づかいなどについて理解している。 	A(1)エ 伝国(1)イ(ア) ■言語活動例 A(2)イ
		【話す聞く】 「対話力」とは何か	1	<ul style="list-style-type: none"> (● 説得力のある意見を述べ合い、話し合いを深める。) (● 互いの考えを生かし合い、課題を解決する。) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「対話力」について理解を深め、多数決によらない解決方法を考える。 2 模擬国際環境会議を開くために、問題を把握し、必要な資料を収集する。 3 グループごとに模擬国際環境会議を開き、対話を進める。 4 代表による模擬国際環境会議を傍聴し、実り多い対話にするためには何が必要かを考える。 5 模擬国際環境会議での議論の内容を生かし、環境問題の解決策をいくつか見いだす。(※5時間配当で想定) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会生活の中から議題を決め、進行にそって、相手を説得するために意見を述べ合おうとしている。 ◇ 話す・聞く能力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題解決に向けて、互いの考えを生かし合っている。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対話力をめぐる語句に注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	A(1)エ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 A(2)イ

2月	【書く】 自分の作品集をつくる	4	<ul style="list-style-type: none"> ● テーマを決めて、作品集をつくる。 ● テーマに合った、文章の形態などを選択する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「私の作品集」の作品を選びながら、全体のテーマや構成を考える。 2 全体の構成を決め、目次・前書き・後書き・奥付などを書く。 3 全体の構成を確認し、表紙を作成して製本する。 4 作品集を友達と交換して読み合い、感想を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じてさまざまな文章などを集め、作品集を編集しようとしている。 ◇書く能力 <ul style="list-style-type: none"> ・課題やテーマなどにそって、さまざまな文章の中から作品を選び、形態などを選択し、構成を工夫して作品集にまとめている。 ◇言語についての知識・理解・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・語句の使い分けに注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> B(1)ア B(1)イ B(1)ウ B(1)エ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 B(2)イ
	バースデー・ ガール	2	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の読書生活を振り返り、さまざまな本や文章を読む。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 全文を通読して、あらすじと登場人物の人物像を捉える。 2 表現上の特徴を調べる。自分だったら二十歳の誕生日に何を願うか、自由に考えて交流し、紹介し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・作品を読み、自分の感想や考えを他と交流することで読書の楽しみを見いだそうとしている。 ・同じ作家の作品を読み広げたり、テーマで作品を読み広げたりして読書経験を広げようとしている。 ◇読む能力 <ul style="list-style-type: none"> ・作品の展開や表現の工夫について評価している。 ◇言語についての知識・理解・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・作品の語句の使い分けに注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> C(1)ウ C(1)オ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)ウ
3月	花を贈る	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 文章の表現の仕方を評価し、筆者の「哲学的」な考え方に対して、自分の考えを深める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 文章の表現の仕方を評価し、筆者の「哲学的」な考え方に対して、自分の考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・「花を贈る」という行為の意義について、筆者の考えを捉えながら、哲学的なものを見方や考え方に興味をもとうとしている。 ◇読む能力 <ul style="list-style-type: none"> ・文章の表現の仕方を評価しながら、筆者が説いていることを捉え、「哲学的」に考えることについて、自分の考えを深めている。 ◇言語についての知識・理解・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な語句の意味を捉え、内容の読み取りに役立たせている。 	<ul style="list-style-type: none"> C(1)ウ C(1)オ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)ウ
	自分自身に	1	<ul style="list-style-type: none"> (●詩を読んで、「自分自身に」向けた言葉を考える。) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 詩を読んで、「自分自身に」向けた言葉を考えてみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・詩に表れているもの見方や考え方をもとに、自分自身について考えようとしている。 ◇読む能力 <ul style="list-style-type: none"> ・詩に表れているもの見方や考え方を批評している。 ◇言語についての知識・理解・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・詩の中の語句の使い分けに注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> C(1)エ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)ア

時数合計 90時間(内、話すこと・聞くこと12時間、書くこと21時間)

※本表中、「漢字の練習」の時数や学習活動などについては、適宜扱う。

※本表中、「教材目標」欄に()で示してあるものは、教科書では目標として示していないが、想定される目標として設定したものである。

※本表に記載のない教材(「四季のたより」「本の世界へ」「言葉と仕事」「ことばの散歩道」「文法3 文の組み立て」「文法4 文法的に考える」「言葉の自習室」)については、適宜扱う。